

令和6年度

京都府食育推進行動計画

実績報告



きょうと食育ネットワークマスコット
なす坊



京都府広報監
まゆまろ

令和6年度

京都府

1 第4次京都府食育推進計画目標に関する年度別目標数値及び達成状況

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を 1日2回以上ほぼ毎日食べる府民の割合	目標	—	72%	74%	76%	78%	80%
		達成状況	69.1%	65.7%	53.1%	59.6%	56.4%	
<担当課> 農林水産部農政課								
<目標設定の考え方> 心身の健康増進には、栄養バランスに配慮した食事を習慣的に摂取することが大切で日本型食生活にも繋がります。								
<調査方法> 農政課「食育・食生活にかかるアンケート調査」								
<目標達成に向けた主な施策> ・きょうと食育ネットワーク連携による取組 （総会、情報交換会等の開催、食育支援活動の登録） （きょうと食育強化月間の啓発） （動画を活用した子育て世代向け食育啓発） （ICTを活用した食育宣言の募集を通じた食育啓発） （きょうとの食育サポート企業と連携した食育啓発） （食育事例集の作成、啓発） （朝食摂取、主食・主菜・副菜のそろった食事の啓発） ・きょうと食いく先生等派遣事業 ・大学等と連携した、きょうと食の安心・安全ヤングサポーターの養成、食育体験講座の開催								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
2	朝食を毎日食べる府内小学生の割合 (6年生)	目標	—	87%	89%	91%	93%	95%
		達成状況	85.3%	84.3%	83.1%	82.5%	83.3%	
	朝食を毎日食べる府内中学生の割合 (3年生)	目標	—	82%	84%	86%	88%	90%
		達成状況	79.7%	80.0%	77.6%	76.2%	78.1%	
<担当課> 教育庁保健体育課、社会教育課、学校教育課								
<目標設定の考え方> 朝食は、基本的な生活習慣を身につける観点から非常に重要であり、とりわけ、子どもの朝食摂取に向けて、家庭や学校等関係者が連携し取組を推進します。								
<調査方法> 文部科学省「全国学力・学習調査」								
<目標達成に向けた主な施策> ・京都府食育推進連絡協議会による取組 ・京都府食育推進交流会による取組 ・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進にかかる文部科学大臣表彰への推薦及び広報活動（偶数年度実施） ・農政課実施の食のみらい宣言への参加を促す。								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
3	きょうと食いく先生の授業数	目標	—	425授業 /年	457授業 /年	490授業 /年	522授業 /年	554授業 /年
		達成状況	373授業 /年	216授業 /年	429授業 /年	579授業 /年	580授業 /年	
<担当課> 農林水産部農政課								
<目標設定の考え方> 食の専門家である「きょうと食いく先生」が持つ知識や経験で、学校等での食育活動を支援します。								
<調査方法> 農政課調べ								
<目標達成に向けた主な施策> ・きょうと食いく先生等派遣事業								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
4	学校給食における地場産物を使用する割合 (金額ベース)	目標	—	22%	24%	26%	28%	30%
		達成状況	20.6%	17.7%	18.6%	21.5%	17.4%	
<担当課> 教育庁保健体育課								
<目標設定の考え方> 学校給食に地場産物（京都府産の食材）を活用することで、地域の自然や食文化等の理解を深め、感謝の心を育むなどの取組を推進します。								
<調査方法> 文部科学省「学校給食における地場産物・国産食材の使用状況調査」								
<目標達成に向けた主な施策> ・市町（組合）教育委員会と農林水産部局が連携し、学校給食への地場産物活用が促進するよう促す。 ・（公財）京都府学校給食会へ地場産物使用状況等の情報提供を行い、府内産食材の取扱い促進について依頼する。								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
5	食育推進計画を作成・実施している市町村の割合	目標	—	70%	77%	85%	92%	100%
		達成状況	68.0%	65.4%	73.1%	76.9%	80.8%	
<担当課> 農林水産部農政課								
<目標設定の考え方> 市町村食育推進計画の作成を通じて、様々な食育の取組が連動し、地域の特性を生かした効果的な食育が推進されるよう支援を行います。								
<調査方法> 農林水産省「食育推進計画等に関する調査」								
<目標達成に向けた主な施策> ・市町村食育推進計画作成の手引きを活用した支援								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
6	きょうと健康おもてなし食の健康づくり 応援店数	目標	—	800店舗	800店舗	800店舗	800店舗	800店舗
		達成状況	788店舗	796店舗	804店舗	811店舗	808店舗	
<担当課> 健康福祉部健康対策課								
<目標設定の考え方> エネルギーやアレルギー表示、野菜や塩分に配慮した食事を提供する「食の健康づくり応援店」を通して、府民の健康的で安全な食環境整備を推進します。								
<調査方法> 健康対策課調べ								
<目標達成に向けた主な施策> ・きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店事業 ・地域の食に関連する情報を収集し、対象店舗を開拓。 会議等における応援店PRのチラシの配布。								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
7	京の食文化の語り部のオンライン講座 受講者数	目標	—	100人 /年	150人 /年	200人 /年	250人 /年	300人 /年
		達成状況	0人 /年	81人 /年	326人 /年	401人 /年	309人 /年	
<担当課> 農林水産部流通・ブランド戦略課								
<目標設定の考え方> 府内の農林水産物や食文化に造詣の深い京の食文化の語り部の普及活動を通じて、府内農林水産物の魅力発信や食育活動の活性化を推進します。								
<調査方法> 流通・ブランド戦略課調べ								
<目標達成に向けた主な施策> ・京の食文化や府内産農林水産物・加工品をテーマにしたオンライン講演会の開催 ・京の食文化ミュージアム・あじわい館YouTubeチャンネルを活用した動画の公開								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
8	和食文化人材の育成人数 （京都府立大学農学食科学部和食文化科学科及び文学部和食文化学科在籍者数）	目標	—	90人 /年	120人 /年	120人 /年	120人 /年	120人 /年
		達成状況	36人 /年	102人 /年	135人 /年	134人 /年	135人 /年	
<担当課> 総合政策環境部大学政策課								
<目標設定の考え方> 食文化に関わる（担う・支える・楽しむ）人を増やし、その裾野を広げる取組を推進します。								
<調査方法> 大学政策課調べ								
<目標達成に向けた主な施策> ・和食文化人材の育成								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
9	ICTを活用した情報発信数	目標	—	60回 /年	120回 /年	180回 /年	240回 /年	300回 /年
		達成状況	30回 /年	372回 /年	402回 /年	319回 /年	335回 /年	
<担当課> 部局共通								
<目標設定の考え方> 新しい生活様式・新たな日常への対応として、オンラインでの情報発信等、ICTを活用した効果的な取組を推進します。								
<調査方法> 担当課集計								
<目標達成に向けた主な施策> ・きょうと食育ネットワーク連携による取組【農林水産部農政課】 （動画を活用した子育て世代向け食育啓発） （ICTを活用した食育宣言の募集を通じた食育啓発） ・京都府食の府民大学の講義の充実【農林水産部農政課】 ・京都府食の安全・食育情報SNSを活用した情報発信【農林水産部農政課】 ・cookpad京都府公式キッチンにおける情報発信【農林水産部流通・ブランド戦略課】 ・京のこだわり畜産物生産農場フェイスブック等畜産課所管SNSによる食育啓発【農林水産部畜産課】								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
10	ICTを活用して食育宣言を行う府民の数	目標（累計）	—	500人	1,500人	3,500人	6,500人	10,000人
		達成状況	0人	2,147人	5,216人	8,795人	12,980人	
<担当課> 農林水産部農政課								
<目標設定の考え方> 健全な食生活の実践に向けて、具体的な取組目標や取組結果等を宣言するもの。従来の紙媒体等による募集方法からSNS等を効果的に活用する方法に替えることで、より高い波及効果によって、幅広い府民の自発的な取組を促します。								
<調査方法> 農政課調べ								
<目標達成に向けた主な施策> ・きょうと食育ネットワーク連携による取組 （ICTを活用した食育宣言の募集を通じた食育啓発）								

2 取組一覧（令和6年度）

担 当 または 窓 口	取 組 事 項 名	ペ ー ジ	評 価 （※）	推進計画における施策との対応					目 標 と の 対 応 に お け る
				多様な主体			効果的な推進		
				家 庭	学 校 等	地 域	食 育 の 関 心	新 た な 日 常	
農林水産部									
農政課									
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 （総会、情報交換会等の開催、食育支援活動の登録）	10	A	○		○			1
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 （きょうと食育強化月間の啓発）	10	A	○		○			1
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 （動画を活用した子育て世代向け食育啓発）	11	A	○			○	○	1
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 （ICTを活用した食育宣言の募集を通じた食育啓発）	12	A	○	○	○	○	○	10
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 （きょうとの食育サポート企業と連携した食育啓発）	12	A	○		○			1
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 （食育事例集の作成、啓発）	13	A	○		○			1
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 （朝食摂取、主食・主菜・副菜のそろった食事の啓発）	13	A	○		○			1
	きょうと食いく先生等派遣事業 （派遣、養成講座の実施と認定、交流会の開催）	13	A		○	○			3
	子ども用調理器具貸出事業の実施	14	B		○				
	市町村食育推進計画作成の手引きを活用した支援	14	A			○			5
	大学等と連携した、きょうと食の安心・安全ヤングサ ポーターの養成、食育体験講座の開催	14	A			○	○	○	1
	京都府食の府民大学の講義の充実	15	A	○	○	○	○	○	9
	京都府食の安全・食育情報SNSを活用した情報発信	15	A	○	○	○	○	○	9
農村振興課									
	子どもを対象とした農業体験の開催	15	A			○			
	高校生・大学生による農業関連実践活動	16	A		○				
経営支援・担い手育成課									
	農業体験活動等の推進	16	A				○		
流通・ブランド戦略課									
	京の食文化や府内産農林水産物・加工品をテーマにしたオンライン講演会	17	A				○		7
	cookpad京都府公式キッチンにおける情報発信	17	A	○			○		9
	「京野菜マルシェ」の開催	17	A				○		
	「旬の京野菜提供店」の認定	18	A				○		
	京都府農林水産フェスティバルの開催	18	A	○		○			

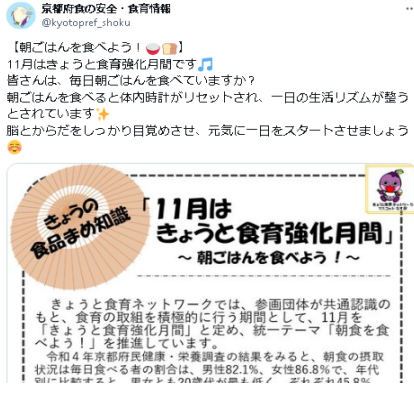
担 当 または 窓 口	取 組 事 項 名	ペ ー ジ	評 価 (※)	推進計画における施策との対応						目 推 標 進 との 計 対 画 応 における
				多様な主体			効果的な推進			
				家 庭	学 校 等	地 域	食 育 の 関 心	新 た な 日 常		
農産課										
	農山漁村伝承技能保持者による技術伝承活動	18	A				○			
	茶育の推進	18	A		○		○			
畜産課										
	京のこだわり畜産物生産農場フェイスブック等畜産課所管SNSによる食育啓発	19	A				○	○		9
水産課										
	水産教室の開催	19	A		○		○			
	都市漁村交流の促進	19	A			○	○			
総合政策環境部										
大学政策課										
	和食文化人材の育成	20	A				○			8
循環型社会推進課										
	食品ロス削減のための啓発事業の実施	20	A				○			
丹後海と星の見える丘公園（自然環境保全課）										
	郷土料理作り	20	A	○	○	○	○	○		
	おくどさん体験及びタ食づくり	21	A	○	○	○	○	○		
	石窯パン・ピザ作り	21	B		○	○	○	○		
	アースデイ丹後	21	A	○		○	○	○		
文化生活部										
文教課										
	私立幼稚園・学校等への食育推進事業	21	A		○					
健康福祉部										
こども・子育て総合支援室										
	食育に関する事業案内等の周知	22	A		○					
家庭・青少年支援課										
	「きょうとこどもの城」等と連携した地域で行う食育の推進	22	A			○				
高齢者支援課										
	高齢者のフレイル予防の指導を行う管理栄養士等の養成	22	A	○		○				1
健康対策課										
	「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」の増加	23	B			○				6

担 当 または 窓 口	取 組 事 項 名	ペ ー ジ	評 価 (※)	推進計画における施策との対応						目 推 標 進 と の 計 画 の 対 応 に お け る
				多様な主体			効果的な推進			
				家 庭	学 校 等	地 域	食 育 の 関 心	新 た な 日 常		
乙訓地域										
乙訓保健所										
	家庭における食育推進をねらいとした啓発	23	A	○			○			
山城地域										
振興局農林商工部農商工連携・推進課										
	山城マルシェの開催	24	A			○	○			
	「京やましろ食～京やましろ産食材提供店～」登録の拡大	24	A			○		○		
	やましろ産食材を使った商品開発と情報発信	24	A	○			○	○		
山城南農業改良普及センター										
	学童田植え・稲刈り体験（木津川市）	25	A	○		○	○			
山城北保健所										
	健康づくりイベント等における食育啓発活動	25	A	○		○				1
	働き盛り世代の生活習慣病予防を目的とした啓発	26	A	○		○				1
山城南保健所										
	働き盛り世代の生活習慣病予防をねらいとした啓発	26	A	○		○				1
	家庭における食育推進をねらいとした啓発	27	A	○		○				1
南丹地域										
振興局農林商工部地域づくり振興課										
	おいしい食の応援隊（農作業ボランティア）の開催	27	A			○				
南丹農業改良普及センター										
	栽培から収穫まで行う食育	27	B		○					3
	地元小学校の児童を対象とした食育活動	28	A		○					3
南丹保健所										
	きょうと健康長寿推進府民会議食環境部会の開催	28	A	○	○	○				
	京都丹波地域配食サービスリストの更新	29	A	○		○				
	社員食堂を通じた健康づくりの取組を実施	29	A	○		○				

担 当 または 窓 口	取 組 事 項 名	ペ ー ジ	評 価 (※)	推進計画における施策との対応						目 推 標 進 と の 対 応 計 画 に お け る の 対 応	
				多様な主体			効果的な推進				
				家 庭	学 校 等	地 域	食 育 の 関 心	新 た な 日 常			
中丹地域											
振興局農林商工部農商工連携・推進課											
	食育月間の取組	29	A				○				
	「京都中丹いちおしまルシェ」の開催	30	A			○	○				
	中丹茶の魅力発信	30	A		○	○	○				
中丹東農業改良普及センター											
	農作業体験の推進（中学校・出品茶摘み）	30	A		○	○	○				
中丹西農業改良普及センター											
	新たな体験型食育授業を実施する学校への授業実施に向けた支援	31	A		○		○				3
	継続して体験型食育授業を実施する学校への授業実施に係る支援	31	A		○		○				3
中丹西保健所											
	「きょうと健康長寿推進府民会議」の開催	32	A			○					
	家庭における食育推進を目指した啓発	32	A	○			○				
丹後地域											
振興局農林商工部農商工連携・推進課											
	丹後地域の食の魅力発信	33	A			○	○				
丹後農業改良普及センター											
	小学校の食育活動に対する支援	33	A		○						
丹後保健所											
	食育月間の取組	34	A				○				
	食育フォーラムの開催	34	A	○	○		○	○			
	社員食堂を通じた健康づくりの取組	34	A			○					
教育委員会											
保健体育課、学校教育課、高校教育課											
	学校教育活動全体を通じた食育の推進	35	A		○						
	調理体験等の充実	35	A		○						
	学校給食を活用した食育の推進	35	A		○						
保健体育課、学校教育課、社会教育課											
	児童生徒の朝食摂取状況の向上に向けた取組の推進	36	A	○							2
保健体育課											
	地場産物を取り入れた学校給食の促進	36	A		○						4
	地域の人材を活用した体験学習等の実施による生活実践力の育成	36	A		○						3
	教職員研修の充実	37	A		○						
教職員人事課											
	採用選考試験等の実施	37	A		○						
件 数	73			28	29	38	35	13			

3 個別の取組（令和6年度）

担当または窓口 農政課		施策	家庭、地域	目標	1
取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 （総会、情報交換会等の開催、食育支援活動の登録）				
取組の内容	きょうと食育ネットワーク^(※)において、府内で食育に取り組む様々な関係者が集い、それぞれの特性を生かしながら、協働し、府民運動として食育を推進します。きょうと食育ネットワーク団体やきょうとの食育サポート企業の食育支援活動など食育の情報をホームページ等で情報提供します。 (※)保健衛生関係、農林水産関係、教育関係、大学関係、商工関係、消費者関係、NPO等、報道関係、行政関係の計86団体が加入 目標：通常総会の開催 1回、情報交換会の開催 1回、幹事会の開催 1回				
取組の実績	令和3年4月から開始した「第4次京都府食育推進計画」を踏まえ、きょうと食育ネットワーク参画団体が相互に連携し、「朝食摂取」や「主食・主菜・副菜のそろった食事」などの食育活動を行うこととし、府内食育関係者が食育に関する情報交換を行い、更なる連携を図る機会とするため、情報交換会をオンラインで開催しました。 実績：通常総会の開催 1回、情報交換会の開催 1回、幹事会の開催 1回 ○情報交換会 日 時 令和6年7月3日（水）オンライン開催 内 容 (1)「環境にやさしい農業について」（京都府農産課） (2)「さかなの絵本に係るアンケート結果とその活用について」（京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授） (3)「「きょうとの食育」サポート企業の食育活動について」 ・大塚製薬株式会社 ニュートラシューティカルズ事業部 京滋北陸支店 ・日本新薬株式会社 機能食品カンパニー ・雪印メグミルク株式会社 西日本支社西日本CR 企画推進グループ 参加者 76名（食育ネットワーク会員、きょうとの食育サポート企業、きょうと食いく先生、学校、関係団体、行政等食育関係者）				
評 価	A				

担当または窓口 農政課		施策	家庭、地域	目標	1
取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 （きょうと食育強化月間の啓発）				
取組の内容	きょうと食育ネットワーク団体等が共通認識のもと、食育の取組を積極的に行う期間として、「きょうと食育強化月間（11月）」を設定し、統一テーマ「朝ごはんを食べよう！」を推進します。				
取組の実績	参画団体等が共通認識のもと、食育の取組を積極的に行う期間として、「きょうと食育強化月間（11月）」を設定し、統一テーマ「朝ごはんを食べよう！」を推進しました。京都府食の安全・食育情報 Facebook、Xによる情報発信、府庁ロビー展示を実施しました。  京都府食の安全・食育情報Facebook・X 京都府庁ロビー展示				
評 価	A				

施策	家庭、食育の関心、 新たな日常	目標	1
----	--------------------	----	---

取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (動画を活用した子育て世代向け食育啓発)		
取組の内容	府民の間で広く食育への関心を高め、家庭で食育を実践するきっかけとするため、仕事や家事に忙しい「子育て世代」を主な対象として、家庭で楽しく食育に取り組む具体的な提案となる「レシピ動画」を制作し、動画を題材とした「食育トークショー」を開催します。 目標：動画の制作 2編、トークショーの開催 1回		
取組の実績	府民の間で広く食育への関心を高め、京都の食文化を家庭で楽しく継承する契機とするため、食育の啓発が届きにくかった「若い世代」及び「子育て世代」を主な対象として、京丹波町の食材を使って京都の家庭で受け継がれてきた台所の知恵が詰まったレシピ、生産者、家庭で料理を楽しむ意義を紹介する動画を制作し、SNS等を活用して広く発信しました。 また、京都の食材や食文化を取り入れた家庭での食育について提案するトークショー「“できる”から始まる楽しい食育トークショー」を開催しました。 出演：小平 泰子 氏（料理家）※レシピ考案 永井 吉幸 氏（農業者〔京丹波町〕／きょうと食いく先生） 小切間 美保 氏（同志社女子大学生活科学部食物栄養科学科教授） 実績：○動画の制作 4本 『レシピ動画』2本 京丹波町の食材を使ったレシピ（主菜・副菜）、生産者の想い、大学教授による食育の意義を紹介する動画を作成 ①具だくさん焼き豆腐、ほうれん草と切り干し大根のごま和え ②豚のみそ漬け手巻き、小松菜入りかきたま汁 『ダイジェスト版』2本（15秒・60秒）  ○食育トークショーの開催 開催日時：令和6年7月27日（土）13時30分～15時 参加者：82人（会場のみ） アーカイブ視聴355人  ～話題～ ・自己紹介 ・導入 ・受け継いでつなぐ、京都の台所の知恵と工夫 ・京都の暮らしが育む食文化 ・農業を楽しくつなぐ～地域での食育活動を通して～ ・家庭で楽しく、おいしく食育 ・来場者からの質問 発信：京都府広報課SNS、京都府広報監まゆまるSNS、京都府食の安全・食育情報SNS、関係団体SNS		
評価	A		

担当または窓口 農政課		施策	家庭、学校等、地域、食育の関心、新たな日常	目標	10
取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (ICTを活用した食育宣言の募集を通じた食育啓発)				
取組の内容	望ましい食生活の実践に向けて、府民自らが具体的な取組目標を宣言し、取組結果を共有するもので、きょうと食育ネットワークの連携・協力のもと、SNS等を効果的に活用することで、より高い波及効果によって、幅広い府民の自発的な取組を促進します。 目標：ICTを活用して食育宣言を行う府民の数 6,500人				
取組の実績	「第8回京都府食のみらい宣言・実践活動コンクール」やイベント等において、府民に食に関する目標を宣言していただき、自発的な食育活動への取組を促進しました。 コンクールでは、個人では小学生～大学生、一般の方、グループでは保育園、中学校、高校、地域の団体など、全体で197件・380人から幅広い応募がありました。また、農林水産フェスティバル2024ではコンクールの特別賞投票を行い、コンクールと連動して府民自らの食育宣言を収集しました。その他、食に関するイベントと連動して参加者アンケート方式で、府民自らの食育活動の宣言を収集しました。 ○第8回京都府食のみらい宣言・実践活動コンクール：380人 概要：府民等から、「自分自身の食に関する目標（食のみらい宣言）」と「その目標達成に向けた実践活動」を募集し、応募作品の中から事務局及び選考意見聴取会で入賞作品を決定し、表彰する。 募集内容：①自分自身の食に関する目標（食のみらい宣言） ②目標達成に向けた実践活動についてのコメント ③活動の様子が分かる写真等 応募方法：Instagramでの応募、Eメールまたは郵送での応募 募集期間：令和6年6月3日～11月1日 応募総数：197点（メール・郵送187点、Instagram10点） 入賞：20点（最優秀賞1点、優秀賞5点、特別賞3点、佳作11点） 協賛の「きょうとの食育」サポート企業から副賞を授与 ○参加者アンケート：3,805人 実績：ICTを活用して食育宣言を行う府民の数 のべ12,980人 (令和6年度実績 4,185人＋令和5年度までの実績 8,795人) 				
評価	A				

担当または窓口 農政課		施策	家庭、地域	目標	1
取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (きょうとの食育サポート企業と連携した食育啓発)				
取組の内容	府内における食育活動を推進するために、きょうと食育ネットワーク団体や、市町村、府、学校など公的機関、地域の活動グループ等が行う食育活動を積極的に支援・協力する企業を『「きょうとの食育」サポート企業』として登録し、ホームページ等で情報提供を行います。 また、きょうとの食育サポート企業と連携して、食育啓発を行います。				
取組の実績	＜「近畿の旬の野菜をおいしく食べようレシピブック」の作成、イベント開催＞ 日時：①令和6年6月8日（土）、②令和7年2月22日（土） 場所 イオン京都洛南店 内容：①・レシピブックの配付（京都府産の九条ねぎや京みず菜等、近畿の旬の野菜等を使用したレシピ、各自治体からのお知らせ等を掲載） ・メニュー展示、京都府産食材の展示・リーフレット配架 ・京都府・京都市作成の野菜啓発動画放映、食育ポスター掲示 ②・京野菜体験イベント（京野菜の展示、試食、クイズなど） ・レシピブックの配布（近畿の旬の野菜を使用し15分以内に調理可能な、野菜とたんぱく質が摂れる主菜メニューなど7品のレシピ、京都府からのお知らせ等を掲載） ・京都府・京都市作成の野菜啓発等食育動画の放映、レシピカードの配布 ・センサーに手をかざすと野菜摂取レベルが分かる「ベジチェック」測定 など 連携：味の素(株)大阪支社、イオンリテール(株)、明治安田生命保険相互会社、京都市、京都府     レシピブック イベントの様子				
評価	A				

担当または窓口 農政課

		施策	家庭、地域	目標	1
取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (食育事例集の作成、啓発)				
取組の内容	きょうと食育ネットワーク団体等の食育情報等を収集し、ホームページ、FacebookやX、食育 メーリングリスト等により提供します。きょうと食育ネットワーク団体等による食育の取組を情報 発信します。				
取組の実績	きょうと食育ネットワーク団体、市町村・京都府関係部局等から食育情報を収集し、京都府食の 安全・食育情報Facebook、Xで紹介しました。 				
評価	A				

担当または窓口 農政課

		施策	家庭、地域	目標	1
取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (朝食摂取、主食・主菜・副菜のそろった食事の啓発)				
取組の内容	きょうと食育ネットワーク団体が相互に連携し、「朝食摂取」や「主食・主菜・副菜のそろった 食事」の取組を実施します。				
取組の実績	・仕事や家事に忙しい子育て世代を主な対象として、身近に食育を実践できる「ノウハウ」と「エ ビデンス」を盛り込んだショートムービーを制作するとともに、トークショーのライブ配信やSNS 等による拡散を実施しました。(再掲) ・味の素(株)、京都市等と連携し、野菜を使った手軽に作れるメニューを掲載した野菜摂取量向 上の啓発レシピブックを作成・配付し、イオン京都洛南店で啓発イベントを計2回開催しました。 (再掲) ・ICTを活用して府民に食に関する目標を宣言していただき、自発的な食育活動への取組を促進しま した。(再掲)				
評価	A				

担当または窓口 農政課

		施策	学校等、地域	目標	3
取組事項名	きょうと食いく先生等派遣事業 (派遣、養成講座の実施と認定、交流会の開催)				
取組の内容	学校等において、食の大切さや食を支える農林水産業の重要性を学ぶ機会を増やし、農林水産物 の生産や調理・加工等の食農体験指導を行う人材を育成するため、きょうと食いく先生養成講座を 開講し、きょうと食いく先生の認定を行います。 また、きょうと食いく先生を、保育所、学校、地域等に派遣し、体験を通じた「命」と「食」の 大切さを学ぶ食育活動を支援します。 目標：養成講座の開催 1回 きょうと食いく先生の授業数 522授業 京都府食育推進交流会の開催 1回				
取組の実績	きょうと食いく先生を新たに28名認定し、学校等で行う体験型食育を一層充実させることを目的 に、体験型食育を行うポイント等について学ぶ機会を提供するとともに、実践されているきょうと 食いく先生の活動の報告・交流の場とする養成講座・交流会を開催しました。また、事業の周知に 努めたところ、新規の学校や地域の団体等からの申請が増加し、令和6年度も目標の授業数を達成 しました。 実績：養成講座・交流会の開催 1回(オンライン会場及び現地3会場) ※養成講座と交流会を併せて実施 きょうと食いく先生の授業数 580授業				
評価	A				

担当または窓口 農政課		施策	学校等	目標	
取組事項名	子ども用調理器具貸出事業の実施				
取組の内容	子どもを対象とした調理実習を推進するため、子ども用の調理器具の貸出事業を実施し、子どもたちが調理を学ぶ機会の提供を支援します。 目標：１０回				
取組の実績	保育所等で実施する調理実習の機会に子ども用調理器具の貸出を実施しました。実施回数は目標に達しませんでした。新規の保育所等からの申請があり、事業実施地域の拡大につながりました。 実績：７回				
評価	B				

担当または窓口 農政課		施策	地域	目標	５
取組事項名	市町村食育推進計画作成の手引きを活用した支援				
取組の内容	市町村食育推進計画の作成を通じて、様々な食育の取組が連動し、地域の特性を生かした効果的な食育が推進されるよう支援を行います。 目標：市町村等食育担当国会議の開催 １回				
取組の実績	市町村における食育推進計画の策定及び食育活動の推進に向けて、国及び府の情報提供や市町村の事例報告、意見交換を行うことにより、地域の食育活動が推進されるよう、市町村等担当国会議を開催しました。 実績 市町村等食育担当国会議の開催（２／５開催） １回				
評価	A				

担当または窓口 農政課		施策	地域、食育の関心、新たな日常	目標	１
取組事項名	大学等と連携した、きょうと食の安心・安全ヤングサポーターの養成、食育体験講座の開催				
取組の内容	将来を担う若者が食に触れ、親しむ機会を増やし、食の安全及び食文化、食を大切する意識の向上を更に高めるため、大学生等を対象に、食の安心・安全や食育等に関する知識や府が実施する事業等に関する研修会等を開催し、食に関して高い意識を持つ大学生等を養成します。 また、大学生等が京都府の農業や食文化、食育等に対する理解醸成を図ること等を目的に、食育体験講座を開催します。 学生等が動画などの啓発媒体の作成・周知に携わるなど、食の重要性を学ぶ者自らが、周囲を巻き込みながら情報発信を行います。 目標：養成数 １９１名、食育体験講座の開催 １回				
取組の実績	第４次京都府食育推進計画の「若い世代の食への関心の向上」「ICTを効果的に活用した食育の取組」の一環として、大学生等に農業者の取材の機会を提供することで、京都府の農林水産業や食文化に対する理解醸成を図るとともに、学生等が京都の農林水産物・農林水産業のファン作りのための啓発資材の作成に携わることで、効果的な食育の手法の提案を通じて、食への意識向上を図ることを目的に、研修会を開催しました。 実績 養成数 ２５８名、食育体験講座の開催 １回				
評価	A				

担当または窓口 農政課		施策	家庭、学校等、地域、食育の関心、新たな日常	目標	9
取組事項名	京都府食の府民大学の講義の充実				
取組の内容	府民の食に関する学習環境の充実を図るため、忙しい方でも、時間や場所にとらわれずに学べるツールとして、「京都府食の府民大学」（京都府食の安全・食育YouTube）の動画公開を充実させ、食に関する知識や技術を習得する機会を提供します。 （京都府食の府民大学：https://www.pref.kyoto.jp/fumindaigaku/index.html） 目標：総動画再生数 8万回（R5:7.3万回＋年間1万回再生）				
取組の実績	7講座を新規作成し、「京都府食の府民大学」のHPに公開しました。 また、各動画にアクセスしやすいよう、HPのリニューアルを行いました。 実績：総動画再生数 8.6万回 新規講座 6本 「できる」から始まる楽しい食育 3本、食のみらい宣言入賞作品紹介 1本 リスクコミュニケーション（食品表示、カフェイン）2本				
評価	A				

担当または窓口 農政課		施策	家庭、学校等、地域、食育の関心、新たな日常	目標	9
取組事項名	京都府食の安全・食育情報SNSを活用した情報発信				
取組の内容	京都府食の安全・食育情報Facebook、X等で、食育の事例紹介や、食のまめ知識、郷土料理のレポート等、食に関する情報を定期的に発信します。 目標：SNS等を活用した情報発信数 140回				
取組の実績	SNS（京都府食の安全・食育情報Facebook、X）を活用して定期的に情報発信し、広く府民等に食に関する取組情報等の提供を行いました。 実績：236回 				
評価	A				

担当または窓口 農村振興課		施策	地域	目標	
取組事項名	子どもを対象とした農業体験の開催				
取組の内容	次世代を担う子ども達が地域内外の人達と一緒にあって、農業・農村の役割・歴史・文化や里山・水田が育む豊かな生態系等について体験を通じて学習し、ふるさとの農山村に誇りと愛着を高める取組を実施します。 目標：農業・農村体験イベント 10地区				
取組の実績	ふるさと保全活動等を府内13地区で実施しました。棚田模型を活用し、田んぼが有する多面的機能について学習するとともに、それらを支える農業用施設等（井堰、ため池等）を幅広く学び、地域の農業・農産物について深く考える機会となりました。 実績：農業・農村体験イベント 13地区				
評価	A				

担当または窓口 農村振興課		施策	学校等	目標	
取組事項名	高校生・大学生による農業関連実践活動				
取組の内容	人手が不足している農山漁村が、専門分野の知識・技術を一層深めることを目的とした農業関係等専門科を有する高校・大学等と連携し、農業用施設の保全管理、地域農業の学習、新たな特産品の開発など「食」に係る実践活動に取り組みます。 目標：参加学校数 2校				
取組の実績	令和6年度は教育実践パートナーシップ活動（※）等を府内1校で取組を実施しました。「農業」をキーワードに、地域の方とともに水利施設等の農業用施設の学習や農業土木の仕事に関連する現場や技術等の見学を実施し、学生の知識を深めることができました。 （※）教育実践パートナーシップ活動：水路や農道などの農業用施設の保全活動や地域特産品の試作などを通じて、学校（高校・大学）と農村地域との連携を高める取組 実績：参加学校数 1校				
評価	A				

担当または窓口 経営支援・担い手育成課		施策	食育の関心	目標	
取組事項名	農業体験活動等の推進				
取組の内容	丹後王国「食のみやこ」内の農園等において、若いファミリー層など幅広い年齢層を対象に野菜や果樹（万願寺とうがらし、ブルーベリー等）の収穫や自然体験など、「農業体験」活動等を推進します。 ・しいたけ収穫体験（しいたけオーナー）（30人） ・タマネギ収穫体験（300人） ・万願寺とうがらし収穫体験（400人） ・ブルーベリー収穫体験（600人） ・サツマイモ収穫体験（600人） ・ミカン収穫体験（150人） 目標：2,080人				
取組の実績	丹後王国「食のみやこ」内の農園等において、果樹や野菜（万願寺とうがらし、ブルーベリー等）の収穫体験を行い、「農業体験」活動を推進しました。 ・しいたけ収穫体験（しいたけオーナー） 実施日：11月 参加者：4人 ・タマネギ収穫体験 実施日：5月10日～6月2日 参加者：252人 ・万願寺とうがらし収穫体験 実施日：7月20日～9月9日 参加者：249人 ・ブルーベリー収穫体験 実施日：7月21日～9月23日、参加者：608人 ・サツマイモ収穫体験 実施日：10月12日～10月15日、参加者：525人 ・ミカン収穫体験 実施日：11月8日～11月19日、参加者：354人 ・キュウリ収穫体験 実施日：7月4日～9月9日 参加者：60人 実績：2,052人				
評価	A				



担当または窓口 流通・ブランド戦略課		施策	食育の関心	目標	7
取組事項名	京の食文化や府内産農林水産物・加工品をテーマにしたオンライン講演会				
取組の内容	京の食文化ミュージアム・あじwai館において、京の食文化の語り部によるオンライン講演会を開催します。				
取組の実績	●京の食文化ミュージアム・あじwai館において、京の食文化の語り部による講演会を全3回開催しました。 <開催実績> 1回目：題名：フルーツ王国「京丹後」を知り、味わう～丹後フルーツ試食付き講演会 日時：令和6年7月13日（土）14：00～15：30 講師：川添 智未（京の食文化の語り部） 参加者：32名 2回目：題名：京の三大漬物の魅力講演会 日時：令和6年11月15日（金）13：00～14：30 講師：民野 摂子（京の食文化の語り部）、大角 安史（京都府漬物協同組合専務理事） 参加者：31名 3回目：題名：漁師さんから学ぶ！京の海の幸親子向け教室 日時：令和7年1月25日（土）13：00～15：00 講師：民野 摂子（京の食文化の語り部）、菱田 誠（京都府漁業士会会長） 参加者：20名 ●京の食文化ミュージアム・あじwai館YouTubeチャンネルにおいて、京の食文化の語り部が京都の食文化やあじwai館の展示を紹介する動画を公開しています。 現在の動画公開本数：10本				
評 価	A				

担当または窓口 流通・ブランド戦略課		施策	家庭、食育の関心	目標	9
取組事項名	cookpad京都府公式キッチンにおける情報発信				
取組の内容	cookpad京都府公式キッチンにおいて、旬の京都府産農林水産物の情報発信、レシピ紹介を実施します。				
取組の実績	cookpad京都府公式キッチンにおいて、京都府産農林水産物を使用したレシピの紹介を実施しました。 年間掲載数：43件				
評 価	A				

担当または窓口 流通・ブランド戦略課		施策	食育の関心	目標	
取組事項名	「京野菜マルシェ」の開催				
取組の内容	「京のブランド産品」をはじめ、京都の野菜を豊富に品揃えした「ほんまもん京野菜取扱店」等において、PR・販売促進等を行う「京野菜マルシェ」を開催し、京都府産農林水産物の周知・普及を図ります。				
取組の実績	府内小売店等で「京野菜マルシェ」を開催し、京野菜の販売促進・PRを行うことで、京野菜の消費拡大に繋がりました。 期 間：令和6年11月1日（金）～12月10日（火） 参加店舗：府内の小売店、量販店、直売所等 計109店舗 内 容：・京野菜購入者を対象としたプレゼントキャンペーン（応募数：911件） ・プレゼントキャンペーンに係るディスプレイ資材、告知宣伝資材の提供 ・販売促進員派遣による店頭での試食販売、PR				
評 価	A				

担当または窓口 流通・ブランド戦略課		施策	食育の関心	目標	
取組事項名	「旬の京野菜提供店」の認定				
取組の内容	いつでも、おいしい京野菜が食べられる飲食店「旬の京野菜提供店」を認定し、京野菜及び京都府産農林水産物の普及に取り組みます。				
取組の実績	全認定店：１７０店舗（京都府内）、６０店舗（首都圏） 令和６年度は、新規認定店舗はありませんでした。				
評 価	A				

担当または窓口 流通・ブランド戦略課		施策	家庭、地域	目標	
取組事項名	京都府農林水産フェスティバルの開催				
取組の内容	農山漁村と都市との交流機会として、京都府農林水産フェスティバルを開催し、京都府産農林水産物及び農林水産業への理解を深めます。				
取組の実績	京都府農林水産フェスティバル2024を開催しました。 開催日：令和６年１１月30日（土）、12月１日（日） 場 所：京都府総合見本市会館（京都パルスプラザ） 来場者：49,000人（２日間合計）				
評 価	A				

担当または窓口 農産課		施策	食育の関心	目標	
取組事項名	農山漁村伝承技能保持者による技術伝承活動を通じた食育活動				
取組の内容	農山漁村伝承技能保持者が行う、農山漁村に伝わる技能伝承活動を通じて、郷土料理や農業体験などの食育活動を支援します。				
取組の実績	隔年で実施している、各地域に保持されている技能の登録の対象年ではありませんでしたが、農山漁村伝承優秀技能認定者の講師活動・伝承活動の場作りを積極的に行い、普及センターだよりへ掲載するなど、啓発・PRにも努めました。				
評 価	A				

担当または窓口 農産課		施策	学校等、食育の関心	目標	
取組事項名	茶育の推進				
取組の内容	小学生を対象とした「キッズ茶ムリエ」の開催（山城広域振興局）や、小学校での「宇治茶ふれあい教室」（茶協同組合）、「やましろのたから授業」（宇治茶世界遺産登録推進プラットフォーム）による茶育を行います。				
取組の実績	・「キッズ茶ムリエ」は、対面形式で3回開催し、おいしいお茶の淹れ方教室を行いました。（参加者：小学生98人） ・「宇治茶ふれあい教室」は、小学校単位で8回開催し、お茶の入れ方やお茶の種類・効能についての講義などを通じた茶育を行いました。（参加者：小学生618人）（中学・高校も含めると、計13回、1,019人参加） ・「やましろのたから授業」は、小学校単位で17回開催し、宇治茶を淹れながら、宇治茶の価値や地区のたからについて授業を行いました（参加者：小学生748人）				
評 価	A				

担当または窓口 畜産課

		施策	食育の関心、新たな日常	目標	9
取組事項名	京のこだわり畜産物生産農場フェイスブック等畜産課所管SNSによる食育啓発				
取組の内容	畜産課が所管する京のこだわり畜産物生産農場フェイスブックやXをはじめとしたインターネットを通じた情報発信ツールを活用し、京都産畜産物の歴史や府内畜産農場に関する情報を発信することで、京都の食材や食文化への理解を深め、地産地消を推進します。 目標： ICT を活用した畜産物等に関する情報の発信 年25回（R5:54回、R4:15回、R3:10回）				
取組の実績	畜産課が管理するフェイスブックとXのアカウントから京都府の畜産物に関する情報発信を行いました。 実績：発信回数：30回（Facebook：15回、X：15回）				
評価	A				

担当または窓口 水産課

		施策	学校等、食育の関心	目標	
取組事項名	水産教室の開催				
取組の内容	子どもたちの水産物に対する興味を喚起し、理解を深めるため、府職員が京都の海や魚、漁業などに関する講義を行います。				
取組の実績	小学生を対象に京都の海洋環境、漁業、養殖業の概要について講義を行いました。 ①「海と日本プロジェクトin京都実行委員会（KBS京都）」から京都のクロマグロ養殖についての講演依頼があり、令和6年9月2日に、京都市内の小学校で児童約40人に対し、京都の漁業、養殖業等についての講演を実施しました。 ②府北部の小学生を対象に京都府の水産業、水産流通・加工に関する講義を令和6年9月19日、24日及び10月3日の計3回実施し、のべ34人が参加しました。 ③令和6年7月25日、10月6日に府内の小学生を対象に漁業体験を実施し、7人が参加しました。 ④令和7年1月25日に、小学生を対象に京都の魚と食べ方に関する体験教室を開催し、京都市内の小学生10人が参加しました。 ⑤令和7年3月9日に府内の小学生を対象としたお寿司教室を開催し、小学生11人が参加しました。				
評価	A				

担当または窓口 水産課

		施策	地域、食育の関心	目標	
取組事項名	都市漁村交流の促進				
取組の内容	丹後の水産物に対する都市住民の理解を促進するため、丹後水産物のPRや漁業・漁村体験等の都市漁村交流活動に取り組む団体等を支援します。				
取組の実績	「京都府海づくり大会実行委員会」による丹後産水産物のPR等を行うため、京都市内で行われた「きょうといきものフェス2024」（令和6年9月28日、29日）、「京都府農林水産フェスティバル2024」（令和6年11月30日、12月1日）、「京都環境フェスティバル2025」（令和7年2月1日）に出展を行いました。ブース来場者は、上記5日間で約600人でした。				
評価	A				

担当または窓口 大学政策課		施策	食育の関心	目標	8
取組事項名	和食文化人材の育成				
取組の内容	和食文化を、歴史学・文学・人類学・経営学・食品科学などの専門的な視点から教育・研究する中で、座学を中心とした学びとともに、京都の地の利を活かし、食に関わる料理人や生産者、消費者が、何を見、何を感じているかを、フィールドワーク・演習・実習で学び、和食文化の学識の上に、真の教養人として、現代人の知的関心に応え、世界に日本文化を発信する人材を育成します。 目標：和食文化人材の育成人数（京都府立大学農学食科学部和食文化科学科及び文学部和食文化学科在籍者数） 120人／年				
取組の実績	和食文化を文系から理系にわたり横断的に習得できるカリキュラムを提供し、次代の和食文化を担う人材育成に貢献しました。 実績：和食文化人材の育成人数（京都府立大学農学食科学部和食文化科学科及び文学部和食文化学科在籍者数）：135人／年				
評価	A				

担当または窓口 循環型社会推進課		施策	食育の関心	目標	
取組事項名	食品ロス削減のための啓発事業の実施				
取組の内容	府民一人ひとりが食品ロスの問題について考え、削減のための主体的な行動につなげることを目的に、10月の食品ロス削減月間を中心に、民間事業者等と連携した啓発を実施します。 また、府民や事業者の食品ロス削減に向けた取組を推進する役割を担う人材（食品ロス削減推進サポーター）を育成するためのセミナーを開催し、食品ロスに係る意識醸成と実践を促します。				
取組の実績	企業と連携し、食品小売店等でポスター及びてまえどりPOPを掲示し、府民に向けて一斉に啓発を行いました（てまえどり＝すぐ食べる場合に、商品棚の手前にある商品を積極的に選ぶ行動）。 他に、デジタルサイネージをはじめ、府のYouTube、X等のSNSを通じた啓発を行い、食品ロス削減に向けた取組の実践を広く呼びかけました。 また、地域において食品ロス削減の普及啓発活動を行う食品ロス削減推進サポーターの取組支援としてセミナーを開催しました。				
評価	A				

担当または窓口 丹後海と星の見える丘公園（自然環境保全課）		施策	家庭、学校等、地域、食育の関心、新たな日常	目標	
取組事項名	郷土料理作り				
取組の内容	体験プログラムの一つとして実施します。地域の方を講師として招き、丹後ならではの調理法や魚のさばき方などを伝えます。丹後の食文化を学ぶとともに、地産地消、フードロス削減の考え方にも触れ、普段の生活スタイルを見直すきっかけづくりを行います。 目標：学校単位での利用で年2回程度				
取組の実績	○開催日：令和6年5月1日（水） 参加者：16名（大学生グループ） 当日の朝に公園近くの漁港で仕入れた魚を使用し、地元の方から魚さばきを習いながら、調理を行いました。 ○開催日：令和6年8月20日（火） 参加者：24名（小学生中心のグループ） 地元の方から魚・野菜の調理法を習い、共に料理を作成しました。				
評価	A				

担当または窓口 丹後海と星の見える丘公園（自然環境保全課）		施策	家庭、学校等、地域、食育の関心、新たな日常	目標	
取組事項名	おくどさん体験及び夕食づくり				
取組の内容	学校単位や親子を対象に、公園内でとれた木を燃料にして「おくどさん」で炊事するおくどさん体験や、夕食づくりを実施します。 目標：年250名以上				
取組の実績	自分達で公園内の落ち葉や小枝を集めてもらい、マッチを使った火おこしを行いました。かまどや飯盒で行う炊飯体験では、洗米や水量調整、炊きあがりの確認方法について伝えました。 参加者：251名（親子行事、学校行事中心）				
評価	A				

担当または窓口 丹後海と星の見える丘公園（自然環境保全課）		施策	学校等、地域、食育の関心、新たな日常	目標	
取組事項名	石窯パン・ピザ作り				
取組の内容	自分の手で作る楽しさを知るきっかけづくりとして、親子や団体を対象に、石窯によるパン・ピザ焼き体験を行います。また、国産小麦を使用し、フードマイレージの話なども行います。 目標：年250名以上				
取組の実績	生地の触り心地や香りの変化を楽しんでもらえるような声掛けを行いました。また、生地の材料がシンプルで手軽に入手できるものであるため、家庭でも楽しめることを伝え、作ることの身近さを感じてもらえるよう意識しました。 参加者：218名（幼稚園～大学グループ、親子行事等）				
評価	B				

担当または窓口 丹後海と星の見える丘公園（自然環境保全課）		施策	家庭、地域、食育の推進、新たな日常	目標	
取組事項名	アースデイ丹後				
取組の内容	アースデイ丹後では、地元食材である魚介類や米などを使ったフードの出店を推奨し、来場者に提供を行います。原則、電気を使用せずに公園内でとれた薪や地元産の炭を使って調理を行います。				
取組の実績	丹後地域の自然環境から生まれる食材を大切に思う方々に出店の声掛けを行い、イベント当日は12店舗にフードの出店をしていただきました。 開催日：令和6年4月28日（日） 来場者数：450名				
評価	A				

担当または窓口 文教課		施策	学校等	目標	
取組事項名	私立幼稚園・学校等への食育推進事業				
取組の内容	園児・生徒の健康な心身の形成及び安心な生活基盤の育成を図るため、食育に関する学習等に取り組む私立幼稚園・学校等を支援します。				
取組の実績	・令和6年度は、食育に関する教育活動を実施した私立幼稚園・小学校の取組（94件）に対し、支援を行いました。 ・私立学校（園）に対し、食育関連事業である「地産地消コーディネーター派遣事業」「食育トークショーの開催」「きょうと食いく先生等派遣事業」等についての周知を行いました。				
評価	A				

担当または窓口 子育て総合支援室		施策	学校等	目標	
取組事項名	食育に関する事業案内等の周知				
取組の内容	農政課からの食育に関する事業案内等について、府内の保育所や認定こども園に周知を行います。				
取組の実績	農政課からの食育に関する事業案内等について、市町村を通じて府内の保育所や認定こども園に広く周知を行いました。				
評価	A				

担当または窓口 家庭・青少年支援課		施策	地域	目標	
取組事項名	「きょうとこどもの城」等と連携した地域で行う食育の推進				
取組の内容	すべての子どもが生まれ育つ環境に左右されことなく、その将来に夢や希望を持って成長していけるよう、子どもたちが安心して過ごせ、育ちや学びを総合的にサポートする「きょうとこどもの城」において、生活習慣の確立に向けた取組の一環として、食育の観点に配慮しながら、調理実習等を含めた食事の提供を行います。				
取組の実績	ひとり親家庭のこどもの居場所において、食育の観点に配慮しながら、生活習慣の確立に向けた支援を実施しました。 実施場所 37箇所				
評価	A				

担当または窓口 高齢者支援課		施策	家庭、地域	目標	1
取組事項名	高齢者のフレイル予防の指導を行う管理栄養士等の養成				
取組の内容	高齢者の介護予防に資する通いの場において、フレイル・低栄養予防の指導を行う管理栄養士・栄養士を養成します。 ・通いの場など介護予防事業に従事する管理栄養士等への研修を実施 ・年1回、対面又は動画配信により開催				
取組の実績	令和6年度 介護予防従事者スキルアップ研修を開催しました。 ・開催：令和7年3月24日～3月31日 なお、上記以外の期間でも動画視聴できるよう、京都地域包括ケア推進機構ホームページに動画を掲載しました。（令和7年3月） ・参加者：45名（管理栄養士等の職以外の者も含む） ・内容：フレイル予防 食からのアプローチと今後に向けて				
評価	A				

担当または窓口 健康対策課		施策	地域	目標	6
取組事項名	「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」の増加				
取組の内容	①野菜たっぷりメニュー、②塩分控えめメニュー、③エネルギー表示、④アレルギー表示のいずれかを実施している店舗を「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」として認定し、健康に配慮した店舗を増やします。 目標：1,000店舗の登録（令和11年度）※きょうと健やか21（第4次）の数値目標と連動				
取組の実績	「エネルギー表示」「野菜たっぷりメニュー」「塩分ひかえめメニュー」「アレルギー表示」に取り組む府内飲食店などを『きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店』として登録し、店舗での表示やホームページにおける周知を行い、府民自らが健康を考えたお店選びに生かすとともに、飲食店の健康意識の向上を図り、健康的な食環境整備をすすめました。 その他、特定原材料に「くるみ」が追加されたことに伴い、「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店登録基準」を改正し、くるみの食物アレルギー表示に係るチラシを登録事業者へ配付する等、周知を行いました。 実績：808店舗				
評価	B				

担当または窓口 乙訓保健所保健課		施策	家庭、食育の関心	目標	
取組事項名	家庭における食育推進をねらいとした啓発				
取組の内容	健康づくりイベントや、食育推進月間や食生活改善普及運動にあわせて、野菜の摂取やバランスの良い食べ方等、正しい食生活の知識に関する情報提供等を行い、食育の啓発を行います。				
取組の実績	適塩や野菜摂取（フードモデルの展示）、バランスの良い食べ方等、食育の啓発を下記のとおり行いました。 ○大山崎町歯のひろば 開催日：令和6年6月1日（土） 場 所：大山崎町保健センター 参加者：56名 ○長岡京市まるごとヘルシーフェスタ 開催日：令和6年9月7日（土） 場 所：バンビオ（長岡京市中央生涯学習センター） 参加者：146名 ○保健所ロビーでの啓発 食育推進月間 実施期間：令和6年6月 食生活改善普及運動 実施期間：令和6年9月				
評価	A				



担当または窓口 山城広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課		施策	地域、食育の関心	目標	
取組事項名	山城マルシェの開催				
取組の内容	山城地域の食の魅力発信と地産地消の推進を図るため、農産物や加工食品等を直接消費者に販売する山城マルシェを開催します。 目標：7回				
取組の実績	・食の京都「山城いちおしマルシェ」開催 （イオンモール久御山店 10/12・13 2日間 のべ15店舗出店） ・山城マルシェ in JR宇治駅を7回開催 （6/11、7/9、10/8、11/16、12/10、1/14、2/18の7回開催） 京やましろ産食材提供店、直売所、JA等 のべ69店舗出店				
評価	A				

担当または窓口 山城広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課		施策	地域、新たな日常	目標	
取組事項名	「京やましろ食～京やましろ産食材提供店～」登録の拡大				
取組の内容	山城産食材を食べて楽しめる飲食店等を登録し、健康な食生活の実現、山城産の利用推進を目指します。 目標：10店舗				
取組の実績	・7/18～8/22を募集期間として、登録店舗を募集しました。 ・9/5に、6名の外部審査員による審査を経て18店舗（飲食店13、小売店8、重複3）を新規登録しました。（登録店舗数160店舗）				
評価	A				

担当または窓口 山城広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課		施策	家庭、食育の関心、新たな日常	目標	
取組事項名	やましろ産食材を使った商品開発と情報発信				
取組の内容	京やましろ産食材提供店において、山城産食材を使用した特別メニューの提供を行うフェアを開催します。 対象：京やましろ産食材提供店 目標：15店舗				
取組の実績	10/15～12/16に、希望する京やましろ産食材店が山城地域で生産された旬の農林畜水産物を1品以上使用したメニューを提供する「食の京都やましろ産いちおしメニューフェアスタンプラリー」を開催し、府民や観光客の皆様に山城産食材を味わっていただく機会を提供しました。（参加店舗数：38店舗）				
評価	A				

担当または窓口 山城南農業改良普及センター		施策	学校等、地域、 食育の関心	目標	
取組事項名	学童田植え・稲刈り体験（木津川市）				
取組の内容	木津川市・JA京都やましろ 木津支店が主催し、農業体験を通じて、食や農業の大切さを学ぶため、相楽（さがなか）地域の農家の水田で、小学生（4校、200名程度）に対し、田植え（6月上旬）、稲刈り体験（10月上旬）を行います。普及センターは運営支援を行います。				
取組の実績	木津川市・JA京都やましろ 木津支店が主催で、田植え体験・稲刈り体験を実施しました。 開催日：5月27日・6月10日（田植え体験）、10月7日・10日（稲刈り体験） 場所：木津川市相楽 講師：地域の農業者 参加児童数：174人（田植え体験）、100人（稲刈り体験） 普及センターは運営支援を行いました。				
評価	A				

担当または窓口 山城北保健所		施策	家庭、地域	目標	1
取組事項名	健康づくりイベント等における食育啓発活動				
取組の内容	各種イベント等、さまざまな機会において、望ましい食生活に関する情報提供や体験の機会を設ける等、食育の啓発を行います。				
取組の実績	①やわたフェスタでのブースにて、血管年齢測定の実施、塩分やレシピに関するパンフレットの配布を行いました。 開催日：令和6年10月14日（月・祝） 場 所：八幡市文化センター4階 小ホール 参加者：181名 ②やましろ福菜市でのブースにて、血管年齢測定やベジチェック、塩分チェックシートを用いた食習慣の振り返りを通じて、正しい食生活や健康づくりについて啓発を行いました。 開催日：①令和6年9月14日（土） ②令和6年12月7日（土） 場 所：①アル・プラザ京田辺 ②イオンモール久御山 参加者：①約80名 ②約85人 ③うーちゃフェスタでのブースにて、体験（血管年齢測定、塩分チェック）及び健康づくり・正しい食生活への啓発を行いました。 開催日：令和6年12月22日（日） 場 所：宇治市生涯学習センター及び産業会館 参加者：約150名 ④スーパーと連携した適塩及び野菜摂取増加を目的とした啓発イベントを実施し、血管年齢や塩分チェックシートから自身の健康や食生活について、栄養士からアドバイスを行いました。 開催日：令和7年2月22日（土） 場 所：スーパー山田屋 富野荘本店 参加者：約120名				
評価	A				



取組事項名	働き盛り世代の生活習慣病予防を目的とした啓発		
取組の内容	管内事業所等と連携し、望ましい食生活に関する情報提供や体験等の機会を設け、働き盛り世代等を対象に食生活改善に向けた啓発を行います。		
取組の実績	①商工会議所が実施する集団健診会場にて、体験（血管年齢測定、スモーカーライザー、歯周病チェック等）や展示等により健康づくりや正しい食生活への啓発を行いました。 開催日：令和6年7月11日（木） 場 所：城陽商工会議所 参加者：約100名 ②事業所と連携し、健康講話や健診結果の振り返りを通じて、正しい食生活への啓発を行いました。 開催日：令和6年10月17日（木） 場 所：MMCツーリング 参加者：65名 ③簡易郵便局に勤務する職員を対象に、健康に関する講話（生活習慣病、高血圧、運動、食事について）を実施し、働き世代への生活習慣病予防の啓発を行いました。 開催日：令和6年11月16日（土） 場 所：京都中央郵便局 参加者：13名		
評 価	A		

取組事項名	働き盛り世代の生活習慣病予防をねらいとした啓発		
取組の内容	管内事業所等と連携し、望ましい食生活に関する情報提供や体験等の機会を設け、働き盛り世代等を対象に食生活改善に向けた啓発を行います。 目標：2事業所		
取組の実績	管内2事業所にて従業員の生活習慣病予防や食生活改善等に向けた啓発を行いました。 開催日：①令和6年9月24日（火）、25日（水） ②10月7日（月） 場 所：①京セラ株式会社けいはんなリサーチセンター社員食堂室、 ②関西光量子科学研究所 大会議 参加者：①70人 ②45人 内 容：筋力チェック（ロコモチェック）などの体験コーナーや間食に関する展示と展示内容に関するクイズラリー等、体験型の啓発を実施。 また上記イベント前後9月～12月頃に向け、食堂にて卓上POPの設置による啓発も行いました。 実績：2事業所 		
評 価	A		

担当または窓口 山城南保健所		施策	地域	目標	1
取組事項名	家庭における食育推進をねらいとした啓発				
取組の内容	各種イベント等において、野菜・塩分の適正摂取等、望ましい食生活に関する情報提供の機会を設けるなど、食育の啓発を行います。 目標：2回				
取組の実績	管内の各種イベント等において、生活習慣病予防やロコモ予防等に向けた食生活等の啓発を実施。 開催日：①令和6年11月10日（日） ②11月17日（日） 場 所：①木の津まつり ②せいかまつり 参加者：①74人 ②120人 内 容：InBody測定、ロコモチェックなどの体験 飲み物の砂糖量実物や食育パネル等の展示 実績：2回				
評 価	A				

担当または窓口 南丹広域振興局農林商工部地域づくり振興課		施策	地域	目標	
取組事項名	おいしい食の応援隊（農作業ボランティア）の開催				
取組の内容	ボランティアと農家とが一緒になって農作業で汗を流し、おいしい農産物をつくります。農村地域等との交流をととして、農山村の活性化や地産地消を推進し、地域の食材に対する正しい知識や食事の大切さの認識を深めることに寄与します。				
取組の実績	京都丹波の6地区で農作業応援を27回開催し、延べ128人のボランティアが生産者とともに農作業に参加しました。 また、地域との交流を深め、地域の活性化や地産地消に寄与しました。				
評 価	A				

担当または窓口 南丹農業改良普及センター		施策	学校等	目標	3
取組事項名	栽培から収穫まで行う食育				
取組の内容	地元小学校がきょうと食いく先生、当普及センターの協力を得て、小学校児童にきゅうりの栽培及び収穫までの食育を行います。 対象：南丹市内小学校 目標：きょうと食いく先生の授業数 554授業/年（農林水産部農政課目標値）				
取組の実績	※普及センターが都合により協力できませんでしたが、以下のとおり取組が行われました。 実施日：6月14日（金）、25日（火） 場所：南丹市内 対象：南丹市内の小学校2年生約90名（6月14日）、南丹市内の小学校の特別支援学級1年～6年生の児童38名（6月25日） 内容：奥村氏から野菜の育て方について45分の講義が行われました。児童が実施している鉢植えでの栽培を基に、現在の生育状況の確認や今後の管理の仕方等の説明がなされました。後日、キュウリの収穫体験が実施されたとともに、ミニトマトとピーマンの生育確認が行われました。				
評 価	B				

担当または窓口 南丹農業改良普及センター

		施策	学校等	目標	
取組事項名	地元小学校の児童を対象とした食育活動				
取組の内容	京丹波町瑞穂地区で水稻を生産している法人の食育活動を支援します。地元小学校の授業で生産者から苗づくりと田植えの方法について紹介後、普及センターから米づくりの手順や地産地消に関する講義を行います。 時期：令和6年5月下旬 対象：京丹波町立瑞穂小学校児童				
取組の実績	地元小学校で米づくりの手順や地産地消についての資料を配付し、講義をしました。 実施日：令和6年5月14日(火) 場所：京丹波町瑞穂地区水稻生産ほ場 対象：京丹波町瑞穂小学校 児童27名、教員3名 内容：生産者から苗作りと田植えの方法について紹介した後、米づくりの手順と米の年間消費量の推移について説明。				
評価	A				

担当または窓口 南丹保健所

		施策	家庭、学校等、地域	目標	
取組事項名	きょうと健康長寿推進府民会議食環境部会の開催				
取組の内容	南丹地域の食による健康長寿を目指すことを目的に、ボランティア団体、栄養士の団体、保育、教育、農林、市町行政等を構成団体とした食環境部会を開催し、課題検討や情報交換を通じて地域における食育の推進を図ります。また、今年度は本部会にて「なんたん・かんたん・やさい料理」レシピカードをリニューアルし、農産物直売所・一般飲食店、クックパッド京都府公式キッチン、食環境部会構成団体等を通じて、広く普及し、野菜摂取量向上に向けた取組をより一層進めていきます。 目標：食環境部会の開催 年1回 なんたん・かんたん・やさい料理 レシピカード配布数：10,000枚				
取組の実績	きょうと健康長寿府民会議 食環境部会について以下のとおり実施しました。 開催日：令和6年6月17日(月) 場 所：南丹保健所 講堂 出席者：構成団体15団体18名 内 容：食生活の課題である「野菜摂取向上」「減塩対策」「高齢者の低栄養対策」に加え、「バランスのよい食事」に向けたアプローチに向けた取組の協議 共通媒体(なんたん・かんたん・やさいレシピカードのリニューアル・食生活啓発ポスター等)の検討 各団体の取組の共有や意見交換 等 「なんたん・かんたん・やさいレシピカード」については、管内の希望された施設(直売所等)へ配布した他、食環境部会構成団体の活動での配布、クックパッド京都府公式キッチンへの掲載に加え、今年度からは新たに京都府公式YouTubeにてレシピ動画の配信を始め、広く普及啓発を行いました。 実績：食環境部会の開催：年1回 なんたん・かんたん・やさい料理 レシピカード年間配布数：計11,534枚				
評価	A				

担当または窓口 南丹保健所

		施策	家庭、地域	目標	
取組事項名	京都丹波地域配食サービスリストの更新及び普及				
取組の内容	南丹地域で食事について課題を持っている住民がニーズにあった食サービスが利用できるよう、利用可能な配食サービス資源リストを最新情報に更新します。 目標 更新年1回				
取組の実績	新たに5事業所を追加し、配食サービス資源リストの更新を行いました。 掲載事業所数：企業系配食サービス事業所 23事業所 行政系配食サービス事業所 4事業所 実績：更新1回（3月）				
評価	A				

担当または窓口 南丹保健所

		施策	家庭、地域	目標	
取組事項名	社員食堂を通じた健康づくりの取組を実施				
取組の内容	管内の課題である働き盛り世代の「体重増加」、食生活の面では「野菜摂取量の不足・食塩摂取量の増加」等の解決に向け、企業と保健所が協働で従業員への啓発や食堂の環境整備を図ることで、健康的な食行動が実践できる等食を通じた健康づくりを進めます。 目標：1箇所以上				
取組の実績	働き盛りの健康づくりをめざした「けんこう食堂化事業」の継続フォローとして、社員食堂を持つ事業と連携し、以下のとおり実施しました。 開催日：令和6年7月30日(火) 場 所：管内事業所 参加者：事業所従業員 86名 内 容：「高血圧症予防」に関する啓発・展示 実績：1箇所				
評価	A				

担当または窓口 中丹広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課

		施策	食育の関心	目標	
取組事項名	食育月間の取組				
取組の内容	食育月間である6月に、振興局庁舎内においてポスター等を掲示し、食育に係る情報発信を行います。				
取組の実績	6月に舞鶴庁舎内にて食育のポスターの掲示及び第4次京都府食育推進計画の冊子等の配架をおこない、情報発信に努めました。				
評価	A				

担当または窓口 中丹広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課		施策	地域、食育の関心	目標	
取組事項名	「京都中丹いちおしマルシェ」の開催				
取組の内容	地域の「農」や「食」の魅力を発信し、消費拡大につなげることを目指し、「京都中丹いちおしマルシェ」を開催します。 目標：1回				
取組の実績	開催日：令和6年10月13日（日） 場 所：あやベグンゼスクエア 集客数：3,060人				
評 価	A				

担当または窓口 中丹広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課		施策	学校等、地域、食育の関心	目標	
取組事項名	中丹茶の魅力発信				
取組の内容	全国茶品評会でも日本一に輝く茶の産地である中丹地域のお茶の魅力発信に取り組みます。また、若い世代の中丹茶への関心を高めるため、学校等において茶業教室を開催します。 目標：イベントの開催 3回 学校等での授業 3回				
取組の実績	イベントや学校等でにのくに茶業青年団による茶業授業等を開催しました。 【イベント】 7月20日 農大マルシェ（京都府立農業大学校） 10月13日 京都中丹いちおしマルシェ（綾部グンゼスクエア） 11月23日 中丹OCHA EXPO（あやべ日東精工アリーナ） 【学校での授業】 6月12日 福知山市立上豊富小学校5年生、はばたき学級 6月17日 福知山市立遷喬小学校3年生 6月21日 京都府立福知山高等学校附属中学校3年生 10月30日 京都府立中丹支援学校高等部				
評 価	A				

担当または窓口 中丹東農業改良普及センター		施策	学校等、地域、食育の関心	目標	
取組事項名	農作業体験の推進（中学校・出品茶摘み）				
取組の内容	地域において将来農業に従事する人材を育てるとともに、学校教育の中で農業に触れてもらうため、地域の特産物である「かぶせ茶」の収穫体験を実施します。 また、中学校での職業体験先の1つとして農業を選択できるよう、学校と農業経営体のマッチングに取り組みます。 作 物：茶 時 期：令和6年5月 対 象 者：舞鶴市立加佐中学校の生徒 場 所：舞鶴市 実施方法：品評会出品茶園において、茶農家や地域から一般参加される摘み手とともに、手作業による茶摘体験を実施する。				
取組の実績	舞鶴茶生産組合の協力を得て、手作業による「かぶせ茶」の茶摘み体験を実施しました。 開催日：令和6年5月3日（金）及び5月4日（土） 場 所：舞鶴市志高 参加者：舞鶴市立加佐中学校1～3年生のうち希望者のみ13名				
評 価	A				

担当または窓口 中丹西農業改良普及センター

施策

学校等、食育の関心

目標

3

取組事項名	新たに体験型食育授業を実施する学校への授業実施に向けた支援		
取組の内容	地域の子どもたちの農業や地域の農作物に対する関心を高めるため、きょうと食いく先生等地元農業者と地域の学校をつなぎ、新たに体験型の食育授業に取り組みたい学校を支援します。 また、授業で育てた農作物が学校給食の食材として提供されるように、関係機関と連携します。 場 所： 福知山市夜久野町 時 期： 11月頃（変更の可能性 有） 農業者：（株）ファームきぬがわ、 学 校： 福知山市立夜久野学園 農作物： ニンジン（変更の可能性 有）		
取組の実績	開催日：令和6年①10月7日、②11月25日 場 所：①夜久野小学校3年生の教室、②（株）ファームきぬがわのほ場 参加者：①3年生児童18人、教頭、担任、②1～4年生47人、教諭6名（教頭 含） 内容①：食いく先生 衣川晴陽氏（株）ファームきぬがわ 社員）による、自社が行う農業の紹介などの講義 内容②：ニンジンの収穫体験の提供		
評 価	A		

担当または窓口 中丹西農業改良普及センター

施策

学校等、食育の関心

目標

3

取組事項名	継続して体験型食育授業を実施する学校への授業実施に係る支援		
取組の内容	地域の子どもたちの農業や地域の農作物に対する関心を高めるため、引き続き体験型食育授業に取り組む学校及び農業者を支援し、体験型食育授業が円滑に進行されるよう取り組みます。 場 所：福知山市内 時 期：未定 農業者：半田営農(株)、(農組) 鬼の里農園 学校等：福知山市立修斉小学校、淳明小学校、大江学園、福知山幼稚園		
取組の実績	●半田営農(株) ・修斉小学校5年生に対して、5月9日教室で、エビイモ栽培について講義し、同月15日(ほ場)で苗の定植の体験の場を提供した。 ・淳明小学校5年生に対して、10月18日ほ場で、カンショの収穫の体験の場を提供し、翌月14日(校内)のカンショの試食会に参画した。 ・福知山幼稚園園児に対して、11月7日園内の畑で収穫の方法を教えた。 ●(農組) 鬼の里農園 ・大江小学校5年生に対して、6月7日園内の畑で収穫の体験の場を提供した。 ・大江中学校2年生3名に対して、10月24日職業体験（サトイモの収穫）の場を提供した。		
評 価	A		

		施策	地域	目標	
取組事項名	きょうと健康長寿推進府民会議				
取組の内容	府民が自ら疾病予防や生活習慣の改善に取り組むきっかけづくりとするため、府内で共通して行う健康づくり事業、地域の特性に応じて行う健康づくり事業を進める場として「きょうと健康長寿推進府民会議」を開催します。				
取組の実績	きょうと健康長寿推進府民会議構成団体に対して、福知山市民における運動習慣等の現状を周知、また、運動習慣を定着させるために何が必要であるのかについて協議しました。 開催日：令和7年2月5日（水） 場所：京都府中丹西保健所第3会議室 参加団体数：12/20 内容①：きょうと健やか21（第4次）の概要と福知山市の現状について話題提供 内容②：福知山市で実施されているアクティブシティ推進事業について話題提供 内容③：だれでも取り組める運動について、体を動かすコツについて講演 内容④：福知山市民が自然と体を動かせる町にするためには何が必要であるのかについてグループディスカッション				
評価	A				

		施策	家庭、地域	目標	
取組事項名	家庭における食育推進を目指した啓発				
取組の内容	福知山市の課題である、過度な食塩摂取・野菜摂取不足・朝食欠食の改善を目的に、イベント等で啓発を実施します。				
取組の実績	①食育月間中、野菜摂取に関するポスター掲示およびリーフレットの配架を実施しました。 開催日：令和6年6月1日～6月30日 場所：福知山庁舎内府民ホール 参加者：来庁者 ②塩分摂取に関するアンケート調査および適塩啓発を実施しました。 開催日：令和6年6月12日・13日 場所：福知山市武道館 参加者：アンケート調査者数471名（12日：258名、13日：213名） ③産業フェア（働き盛り世代を中心とした企業イベント）にて、適塩や野菜摂取に関するポスター掲示、栄養成分表の見方の周知を実施しました。 開催日：令和6年10月12日・13日 場所：三段池公園総合体育館 参加者：イベント参加者1,016名（12日：521名、13日：595名）				
評価	A				

担当または窓口 丹後広域振興局農林商工部農商工連携・推進課		施策	地域、食育の関心	目標	
取組事項名	丹後地域の食の魅力発信				
取組の内容	丹後地域の食材の魅力をより多くの人に知ってもらえるよう、飲食店や食品加工者等と連携したイベントを実施します。 目標：1回				
取組の実績	【安全な自家利用のためのシカ解体技術講習会】 実施日：令和6年7月27日（土） 参加者：17名 内 容：丹後地域で多数捕獲されているシカの地域資源としての有効活用を促進するため、安全で美味しくいただくための講義、実演、調理実習等を実施。 【高校生向けジビエ料理講習会】 実施日：令和6年7月30日（火） 参加者：8名（高校生7名、教員1名） 内 容：害獣として捕獲されたシカのジビエ利用への理解を深め、地域資源としての価値を見直してもらうため、講義、解体実演、調理実習、実食等を実施。 【丹後まるごとあじわいマルシェ】 実施日：令和6年9月21日（土）、22日（日） 場 所：道の駅 丹後王国「食のみやこ」 来場者：延べ 約17,000名 内 容：丹後産食材等の魅力をPRするため、地元の直売所や農産物加工事業者等による物販や、子どもも楽しめる体験コーナー等のイベントを実施。				
評 価	A				

担当または窓口 丹後農業改良普及センター		施策	学校等	目標	
取組事項名	小学校等の食育活動に対する支援				
取組の内容	小学校が「総合的な学習の時間」の中で取り組む、白大豆についての学習と栽培を普及センターが支援します。				
取組の実績	内容：白大豆についての学習と栽培支援 実施日：1回目 令和6年6月3日 大豆の授業、は種作業 2回目 令和6年7月11日 定植の授業 出席者：宮津市立宮津小学校3年生54名、教員3名、普及センター2名 今年は昨年被害を受けたカメムシ対策として、雑草抑制のため、白マルチを使用した栽培に取り組みました。6月、小学校にて白大豆についての授業を行った後、近隣ほ場に移動し大豆のは種を実施しました。 しかし、種子不良により発芽しなかったため、急遽用意した種子を普及センターから農家に依頼して育苗、7月に改めて定植の授業を行いました。 何年も継続している取組みですが、今年度は植え付け直後と着実後の2度にわたり、鹿による被害を受け、残念ながら収量が落ち込みました。隣地の電気柵設置の畑でも同様の被害があったため、学校側と相談し、来年度はほ場を変更しての取組み継続を検討しています。     は種の授業 定植 生育中 シカによる食害				
評 価	A				

担当または窓口 丹後保健所		施策	食育の関心	目標
取組事項名	食育月間の取組			
取組の内容	食育月間である6月に振興局庁舎内府民ホールにおいて食に関する展示を実施し、正しい情報を提供します。			
取組の実績	「適塩」をテーマにリーフレットやフードモデル等を展示し、来局された府民や職員に対し、正しい食習慣について情報発信を行いました。 展示日：6月12日（月）～6月30日（金）			
評価	A			

担当または窓口 丹後保健所		施策	食育の関心	目標
取組事項名	食育フォーラムの開催			
取組の内容	農林、教育をはじめ様々な食育に関する機関と連携しながら、丹後地域の食育活動を共有し、ネットワークづくりを進めることを目的とし講演会等を開催します。 目標：年1回			
取組の実績	今年度はWEB併用のハイブリット実施としたため、食育フォーラムではなく食育講演会として実施しました。 開催日：令和7年2月12日（水） 場 所：丹後保健所講堂、WEB併用 参加者：76名 内 容：報告者 京都府丹後保健所保健課 技師 田村祐月 「きょうと健やか21第4次について」 講師 大阪総合保育大学 非常勤講師・京都府幼児教育アドバイザー 伴 亜紀氏 「子どもたちの未来を見据えた食育～丹後地域の特性を活かす～」 実 績：1回			
評価	A			

担当または窓口 丹後保健所		施策	地域	目標
取組事項名	社員食堂を通じた健康づくりの取組			
取組の内容	事業所給食等を通じて、食の視点から働き盛り世代の健康づくりを推進します。 食環境整備及び啓発（卓上メモ・ポスター等の設置）			
取組の実績	管内の給食施設の食堂にて健康づくり啓発イベントを実施しました。 開催日：令和7年1月23日（木） 場 所：日本冶金工業株式会社大江山製造所 参加者：従業員約50名 内 容：味覚チェック、血管年齢測定の実施 実 績：1回 食環境整備として管内の健康づくり認証企業に卓上メモを配布しました。 実 績：事業所5か所			
評価	A			

担当または窓口 保健体育課 学校教育課 高校教育課		施策	学校等	目標	
取組事項名	学校教育活動全体を通じた食育の推進				
取組の内容	「食に関する指導の全体計画」に基づき、全教職員の共通理解のもと、体系的・継続的に食育の取組を展開し、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けるよう取り組みます。 また、食育に関する教職員の意識の向上を図り、各教科等や特別活動等、あらゆる機会を通じた食に関する指導を充実します。				
取組の実績	小、中、義務教育学校、高等学校で食に関する指導の全体計画を作成し、教職員の共通理解のもと、学校の教育活動全体で取組を進めました。 【実践例】 5年生の総合的な学習の時間では、食品ロスについて学習を進めています。消費者としての立場から、食品ロスの現状や原因について調べ、子どもたちが改善案を考えていきます。 学校給食の食品ロスについて 知るために、給食の調理の工夫や、野菜くずをたい肥にリサイクルする市の取組について栄養教諭から話を聞きました。				
評価	A				



担当または窓口 保健体育課 学校教育課 高校教育課		施策	学校等	目標	
取組事項名	調理体験等の充実				
取組の内容	基礎的・基本的な調理の知識と技能を身に付け、日常生活で実践できるようにします。朝食や食事の組み合わせや食文化の継承等について理解を深めるとともに、食事を作る楽しさや食べる喜びを味わう取組をします。				
取組の実績	各学校は、家庭科、技術・家庭科の授業等において、様々な工夫を凝らしながら、学校や地域の特性を活かした調理実習等の充実を図りました。 【実践例】 食生活の自立を目指し、調理から後片付けまで、ひとりで取り組む「一人調理」を行い、調理器具に「蒸し器」を使う焼売を作りました。加工食品との食べ比べも行い、味や手間・価格・食品添加物等の観点から比較をします。 表示を確かめて食品を購入することや、状況に応じて加工食品を上手に活用すればよいことなど、実習を通して学ぶことができました。				
評価	A				



担当または窓口 保健体育課 学校教育課 高校教育課		施策	学校等	目標	
取組事項名	学校給食を活用した食育の推進				
取組の内容	将来にわたる健康の保持増進のため、教科等と関連させた献立の工夫を図るなど、学校給食を生きた教材として活用した食育の推進を図ります。				
取組の実績	学校給食実施校では、学校給食を生きた教材として活用し、食に関する指導を実施しています。学校給食を実施している府内すべての小・中学校・義務教育学校・府立学校等で「和食の日（11月24日）」について取組を実施しました。 【実践例】 11月24日の和食の日に合わせて、昆布と削り節で出汁をとったすまし汁を提供し、出汁のおいしさを感じました。そして給食時間には出汁について作成した動画を、各クラスで視聴しました。また、実際に給食で使用する昆布や削り節、煮干し、干しいたけの実物を展示したり、実際に給食で使った昆布の出汁がらを児童たちに見せて、触ったり匂いを嗅いだりすることで、出汁について興味関心を高めることができました。				
評価	A				



担当または窓口 保健体育課 学校教育課 社会教育課		施策	家庭	目標	2
取組事項名	児童生徒の朝食摂取状況の向上に向けた取組の推進				
取組の内容	心身の成長や健康の保持増進の上で食事は規則正しく摂ることが大切であり、特に朝食を摂るなど望ましい食習慣を身に付けるよう取組を推進します。				
取組の実績	各学校の授業や掲示等において、朝食の大切さを学習し、日々の食生活について振り返る機会となりました。 【実践例】 生活アンケートで生徒の朝食喫食状況を調査し、「時々食べる」と答えた生徒を含めると、98%の生徒が朝食を食べており、朝食の内容について考えてもらうよう、朝食の効果や内容の資料を掲示し、生徒の朝食への意識を高める取組をしました。 				
評価	A				

担当または窓口 保健体育課		施策	学校等	目標	4
取組事項名	地場産物を取り入れた学校給食の促進				
取組の内容	学校給食への地場産物の活用とともに、郷土食、行事食等を取り入れることにより、食文化や地産地消への理解を深めるよう給食を通じた指導もあわせて実施します。				
取組の実績	「食に関する指導充実指定事業」「食育月間」「食育の日」「学校給食週間」等の取組により、地場産物を活用し地域の特色を生かした学校給食に取り組み、その内容を研修会での資料やホームページ等により他校や地域、家庭へ周知し普及を図りました。 【実践例】 毎月19日の食育の日前後に「食育の日献立」と題し、和食の良さや旬の食材、地元食材を味わう大切さを伝えることを目的に、一汁二菜の献立や、地場産の野菜や特産品を使用した献立を実施しました。また、給食時間に生徒が放送する「給食一口メモ」の中では、給食の使用食材や栄養バランス、食事マナーなどを紹介しました。 				
評価	A				

担当または窓口 保健体育課		施策	学校等	目標	3
取組事項名	地域の人材を活用した体験学習等の実施による生活実践力の育成				
取組の内容	食の専門家である「きょうと食いく先生」や「食生活改善推進員」等の外部講師による指導、更には地域の生産者等による耕作、収穫、調理等の食に関する体験学習等を取り入れながら生活実践力を育成します。				
取組の実績	各学校では、きょうと食いく先生や地域の生産、関係団体等と連携し、農作物の栽培や調理実習等の体験活動を実施しました。 【実施例】 地域のきょうと食いく先生（和菓子職人）を招き、和菓子の歴史、種類、季節や行事との関わりなどについて講義を通して学びました。茶道に欠かせない和菓子について理解を深め、後日実施する茶道体験につなげ、日本の伝統文化の継承に寄与する気持ちを育むことができました。茶道体験では地域の茶道講師を招き、茶道に関する基礎知識講義のあと、和菓子とお抹茶をいただく体験をしました。				
評価	A				

担当または窓口 保健体育課

		施策	学校等	目標	
取組事項名	教職員研修の充実				
取組の内容	初任者・新規採用者への研修を実施するとともに、食育推進交流会等を開催することによって、学校における食育を推進するための教職員の意識向上及び資質向上を図ります。				
取組の実績	初任者・新規採用者研修をはじめ、「食に関する指導充実指定事業」における京都府食育推進研修会及び交流会、京都府学校給食衛生管理推進研修会、京都府学校給食研究協議大会等において、教職員の食育に対する意識が向上するよう各種研修会等を開催しました。				
評価	A				

担当または窓口 教職員人事課

		施策	学校等	目標	
取組事項名	採用選考試験等の実施				
取組の内容	専門性を有する栄養教諭の新規採用枠を引き続き設けます。				
取組の実績	今年度、栄養教諭2名を採用し、全体で98人（京都市を除く）の配置数となりました。				
評価	A				